

# 平成23年度病害虫発生予報第7号

平成23年10月3日  
愛 知 県

## 1 普通作物

ダイズでは、ミナミアオカメムシやホソヘリカメムシなど、吸実性カメムシ類の発生量が平年に比べ多い状況なので、ほ場での発生状況を確認し、適切に防除しましょう。

## 2 果樹

モモせん孔細菌病の発生量が多くなっています。翌年の伝染源を減らすために秋季防除を徹底し、罹病枝は剪定して取り除きましょう。

カキでフジコナカイガラムシの発生が多くなっています。発生しているほ場では、収穫後に粗皮削りを実施し、マシン油乳剤などを丁寧に散布しましょう。

予察灯およびフェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘殺数は少なく推移しており、カキ園などへの飛来は今後も少ないでしょう。

## 3 野菜

トマトでは、黄化葉巻病の発生量がやや多い状況です。9月1日発表の「トマト黄化葉巻病情報第1号」を参考に、病原ウイルスを媒介するタバココナジラミの防除に努めましょう。

イチゴでは、炭疽病の発生量は平年並ですが、発病株を見つけたら抜き取り、適切に処分しましょう。特に台風15号で雨水に浸かったほ場では注意しましょう。また、ハダニ類の発生量は平年並ですが、発生が多いほ場では、天敵を導入する前に防除を徹底しましょう。

アブラナ科野菜では、台風15号の影響で今後、黒腐病など細菌性の病害が発生するおそれがあります。早めに防除しましょう。また、キャベツほ場に設置したフェロモントラップにおけるハスモンヨトウやオオタバコガの誘殺数は、概ね平年並です。結球部への食入後は防除が困難になるため、ほ場を見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。

## 4 花き

キクほ場に設置したフェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺数は、稲沢市では少なく、豊川市では平年並の状況です。例年、10月は最も発生量が多くなるので、天候次第では、ほ場での発生量が急増するおそれがあります。特に、着蕾期以降に食害を受けると被害が大きくなるので、早めの防除を心がけましょう。

## 作物

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ダイズ	カメムシ類	多い	全域	9月下旬の発生量が多い 10月の気温は平年並	+ ±

### ・防除対策

#### 〔ダイズ・カメムシ類〕

キラップフロアブルやスタークル/アルバリン顆粒水溶剤などで防除しましょう。

## 果樹

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ナシ	黒星病	やや多い	全域	9月下旬の発生量はやや多い 10月の降水量はやや多い	+ +
ウンシュウミカン カキ	カメムシ類	やや少ない	全域	予察灯における誘殺数はやや少ない	-

### ・防除対策

#### 〔ナシ・黒星病〕

落葉は伝染源となるため適切に処分しましょう。また、10月から11月はりん片への感染が多くなるので、来年に備えオキシラン水和剤やICボルドー48Qなどで秋季防除をしましょう。

## 野菜

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
トマト (施設)	葉かび病	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	コナジラミ類	平年並	全域	黄色粘着トラップにおける誘殺数は平年並	±
	黄化葉巻病	やや多い	全域	9月下旬の発生量はやや多い	+
トマト (施設) ナス (施設)	ハモグリバエ類	やや少ない	全域	9月下旬のトマト(施設)での発生量はやや少ない	-
ナス (施設)	ミナミキイロアザミウマ	平年並	全域	9月下旬のハウレンソウでの発生量は平年並 10月の気温は平年並	± ±

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ハクサイ キャベツ	コナガ	やや少ない	全域	9月下旬の発生量はやや少ない 9月のフェロモントラップにお ける誘殺数はやや少ない 10月の気温は平年並	- - ±
ハクサイ	べと病	平年並	全域	9月下旬現在発生を確認してい ない(平年並)	±
	アブラムシ類	やや少ない	全域	9月下旬の発生量はやや少ない 10月の気温は平年並	- ±
キャベツ	黒腐病	やや多い	全域	9月下旬の発生量は平年並 台風15号で強風を伴う降雨が あった	± +
ハウレン ソウ	モザイク病	平年並	全域	9月下旬のアブラムシ類の発生 量は平年並	±
	アブラムシ類	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は平年並	± ±
	シロオビノメ イガ	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は平年並	± ±
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は平年並	± ±
イチゴ (施設)	うどんこ病	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	炭疽病	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は平年並	± ±
	ハダニ類	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は平年並	± ±
野菜共通	ハスモンヨト ウ	やや少ない	全域	9月下旬のキャベツにおける発 生量はやや少ない 9月のフェロモントラップにお ける誘殺数は平年並 10月の気温は平年並	- ± ±
	オオタバコガ	やや少ない	全域	9月下旬のキャベツにおける発 生量はやや少ない 9月のフェロモントラップにお ける誘殺数は平年並 10月の気温は平年並	- ± ±

・防除対策

〔トマト・黄化葉巻病〕

施設の開口部に防虫ネット(目合0.4mm以下)を張り、病原ウイルスを媒介するタバココナジラミの侵入を防止しましょう。タバココナジラミの発生を確認したら、クリアザールフロアブルやチェス顆粒水和剤などで防除しましょう。

**〔キャベツ・黒腐病〕**

カスミンボルドーやキノンドーフロアブルなどで防除しましょう。銅水和剤（無機）を用いる場合、炭酸カルシウム剤（クレフノンなど）を加用し薬害を防止しましょう。

**花き**

・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キク (露地)	ミナミキイロ アザミウマ	少ない	全域	9月下旬の発生量は少ない 10月の気温は平年並	- ±
	ハスモンヨト ウ	やや少ない	全域	9月のフェロモントラップにお ける誘殺数は平年並	±
				9月下旬のダイズやキャベツに おける発生量はやや少ない 10月の気温は平年並	- ±
	オオタバコガ	平年並	全域	9月のフェロモントラップにお ける誘殺数は平年並 10月の気温は平年並	± ±

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台9月30日発表）

予想される向こう1か月の天候

東海地方では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の気温は、平年並の確率50%です。

週別の気温は、1週目は低い確率80%、2週目は高い確率50%です。

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率

〔気温〕 低い：30% 平年並：50% 高い：20%

〔降水量〕 少ない：30% 平年並：30% 多い：40%

〔日照時間〕 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%

**「農薬使用者のみなさんへ」**

飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。

農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。

農薬散布後は、防除器具のタンクやホースの洗いもれがないようにしましょう。

農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。

農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。

農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。